

日本語における動詞主要部移動分析の批判的検証

小林 亮一朗（東京農業大学）

日本語に動詞主要部移動を仮定する研究を批判的に検証する。例えば英語では、疑問文において助動詞などの主要部が移動し、語順が変化するため、顕在的な主要部移動を観察することが容易に可能である。しかし、膠着語で主要部後続型の日本語では、仮に動詞が移動したとしても語順に変化は観察されない。本発表では、動詞主要部の統辞的移動が日本語にも存在するという複数の先行研究に対して、それらの問題点を指摘し、主要部移動を想定しない代案を提示することを目指す。

（本研究は JSPS 科研費 JP21K00574 の助成を受けたものである。）